

林野

9

2023
No.198

特集

レクリエーションの森

へ出かけよう!!



令和5年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

受賞者紹介

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは？

緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が決定し、表彰を行うものです。令和5年は13の個人・団体が受賞されました。本誌では毎号、受賞者の方々をご紹介します。

荒川グリーングリーン（埼玉県寄居町）

寄居町を桜の名勝地として復活させたいとの思いから、平成19年に「300品種一万本・一年中桜に出会える町よりい」を目指して発足し、地域の住民や企業と連携しながら、これまでに145品種・約5,500本の桜を植樹してきました。桜の維持管理や里山の整備を継続して行うとともに、桜を通じて東日本大震災の被災地と交流を図るなど、町内外の団体とも広く連携を図りながら緑化推進に取り組んでいます。

荒川グリーングリーン活動掲載ページ

▶ <https://www.facebook.com/groups/744889908868735>



▲ 活動により整備した「寺山さくら農園」



▲ 植栽した桜への添え木の設置



▲ 挿し木による桜の苗木育成

過去の受賞者については林野庁ウェブサイトをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html



人と森をつなぐ情報誌



9
2023
No.198

表紙の写真：めおと杉（秋田県 仁別自然休養林）

webアンケートにご協力をお願いします！

<https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/kouhou/202309.html>



Contents

- 03 **特集** 「レクリエーションの森」へ出かけよう！後編
- 07 TOPICS 01 森林の仕事ガイダンスに参加しませんか
- 08 TOPICS 02 サザエさん一家の“もりのわ”話 吹き出しコンテスト 受賞作品決定!!
- 10 TOPICS 03 2023年上半期の木材輸入実績
- 12 **新しい林業** ICTハーベスタ等を核とした主伐・再造林システム 岐阜県
- 14 **フォレスター**（森林総合監理士）活動書記 GISで森林の状況を「見える化」して森林所有者との合意形成を支援
- 16 **国有林野事業の取組** 「中部の森林、林業従事者写真コンテスト」の開催
- 18 TOPICS 04 こども霞が関見学デー 会場参加プログラムなどを開催
- 19 **みどりの大使が行く！** グリーンフェスティバル2023など



特集

レクリエーションの森へ出かけよう!!

日本の国土の多くは、豊かな森林につつまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、優れた自然景観を持ち、森林浴や自然観察など自然とのふれあいに適した国有林を「レクリエーションの森」に設定しています。

その中から特にお薦めする7カ所のうち、3カ所をご紹介します。(その他の4カ所については4月号を参照ください。)

※記事で紹介した施設やイベントの営業・開催状況については、事前に主催者のHP等でご確認ください。
※お出かけの際には、天候や服装などに注意してください。

お出かけできないときは、WEBサイトで楽しんでみませんか？

レクリエーションの森のうち、特に景観が優れた93箇所を『日本美しい森お薦め国有林』に選定しており、こちらからご覧になれます。

▶レクリエーションの森：林野庁



ドローンによる空撮映像はこちらをご覧ください。

▶ドローン空撮映像：林野庁



写真上：近畿中国局 宮島風景林と瀬戸内海（広島県）





仁別自然休養林

秋田県秋田市



仁別森林博物館

スニーカーなどの軽装で散策を楽しめるコースあり！
「森の巨人達100選」に選ばれた杉を見に行こう！

概要

昭和41年（1966年）林野庁は、明治100年記念事業として、全国に6カ所の「国民の森」を指定しました。その一つが「天然秋田スギ」を保存し、景観を維持することにより、市民の憩いの場となっている「仁別国民の森」です。また、昭和44（1969）年に自然休養林制度の制定に伴い、この森を「仁別自然休養林」に設定しました。その年には、昭和天皇、皇后両陛下が「仁別国民の森」に行幸啓になり、その際に詠まれた歌の碑が建立されています。

「仁別自然休養林」は、秋田県のほぼ中央部に位置する太平山麓に広がる森林地帯で、秋田市の中心街を流れる旭川の源流部に当たります。標高700～800mまでは、秋田スギを主体とする針葉樹とブナ等の広葉樹の混交林、標高800m以上はブナ、ミズナラを主とする広葉樹林帯となっています。また、「天然秋田スギ」の古里でもあり、旧佐竹藩が自然林のまま保護した「御直山」として、その姿を間近に見ることができます。森林浴や自然観察などに最適で、訪れる人々の心を癒やしてくれます。



旭川に掛かるめおと橋



紅葉のカエデ類など

楽しみ方

東北森林管理局では、スニーカーなど比較的軽装で散策を楽しめるコースを設定し、それらをまとめた「深呼吸のできるお手軽健康ウォーキングBOOK」を作成しコースを紹介しています。

「仁別自然休養林」もその一つで、せせらぎの音を聴き、天然秋田スギを眺めながら歩く「せせらぎの径」、旭川に掛かる「めおと橋」を渡り、天然秋田スギ林をくぐり抜けて歩く「めおと杉の径」、その途中には、森の巨人達100選に選ばれている「めおと杉」など、仁別の自然に触れることができます。

秋になるとカエデ類などの鮮やかな紅葉のスポットもあり、穏やかで柔らかい景色の移り変わりを楽しむことができます。「仁別自然休養林」内には「仁別森林博物館」があり、かつて森林鉄道で活躍した蒸気機関車の展示や各種企画展を開いています。

アクセス

※ 令和5年7月の豪雨災害により、仁別自然休養林・仁別森林博物館へ通じる道が被災し通行止めとなっているため、現在訪問することができません。

🚗 自動車の場合

- ・秋田駅から車で約1時間（仁別森林博物館）
- ・秋田自動車道秋田中央 ICから車で約1時間（仁別森林博物館）

参考 URL

自然休養林（仁別）

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/management/hozen/kyuuyourin-nibetsuA.html>

仁別森林博物館

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/introduction/gaiyou_kyoku/nibetu/index.html





弥山頂上

島全体が御神体となった世界にも例を見ない景観！
新たに生まれ変わった姿を紅葉とともに満喫♪

概要

宮島は、瀬戸内海に浮かぶ周囲 30 km、標高 529 m の峻な島で、天橋立、松島と並ぶ日本三景の一つとして、風致上の重要性から風致保安林、瀬戸内海国立公園特別地域、特別史跡、特別名勝^{いつくしま}厳島等に指定されています。島の総面積の 80 % が国有林であり、このうち、島の北側を「宮島風景林」として、レクリエーションの森に設定しています。

宮島は古来より「神をいつきまつる島」として、島全体が御神体として崇められており、厳島神社と弥山^{みせん}が一体となった景観は、世界にも例を見ない独自の景観を作り出し、平成 8 年（1996 年）には世界文化遺産に指定されました。厳島神社を象徴する建造物である朱塗りの大鳥居は、令和元年（2019 年）6 月から大規模な保存修理工事が開始され、令和 4 年（2022 年）12 月に新たな装いでよみがえりました。

また、観光スポットの一つである紅葉谷川庭園砂防施設は、昭和 20 年（1945 年）9 月の枕崎台風で被災した紅葉谷一帯において、大規模な災害復旧工事が行われた際に、現地にある石材の利用や樹木を伐採しないなど自然を活かした工法により完成した砂防庭園です。令和 2 年（2020 年）12 月に戦後の土木施設で全国初の重要文化財に指定されました。



厳島神社の大鳥居



紅葉谷公園

アクセス

公共交通機関の場合

JR 広島駅（約 30 分）→ JR 宮島口駅（徒歩 3 分）→ 宮島口 棧橋

自動車の場合

岡山・大阪方面より

広島岩国道路廿日市 IC（約 10 分）→ 宮島口駐車場（徒歩約 3 分）→ 宮島口 棧橋

山口・九州方面より

山陽自動車道大野 IC（約 10 分）→ 宮島口駐車場（徒歩約 3 分）→ 宮島口 棧橋

▶ 宮島口 棧橋から弥山山頂までのアクセス

・宮島口 棧橋（フェリー：約 10 分）→ 宮島 棧橋（徒歩約 15 分）
→ 宮島ロープウエー紅葉谷駅（約 15 分）→ 獅子岩駅（徒歩約 40 分）→ 弥山山頂

参考 URL

廿日市市観光公式サイト

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/kanko/>

一般社団法人宮島観光協会

<https://www.miyajima.or.jp/index.php>



楽しみ方

宮島最高峰の霊山である弥山は、大同元年（806 年）に弘法大師・空海により開基されて以来、平清盛や伊藤博文などの信仰を集め、数多くの伝説を残しています。弥山へは 3 つの登山コースがあるほか、ロープウエーもあり、途中には島の対岸や宮島風景林の眺めを楽しめます。頂上の展望台からは、伊藤博文が「日本三景の一の真価は頂上の眺めにあり」と絶賛した瀬戸内海の美しい島々や四国連山の絶景を 360° 大パノラマで望むことができます。

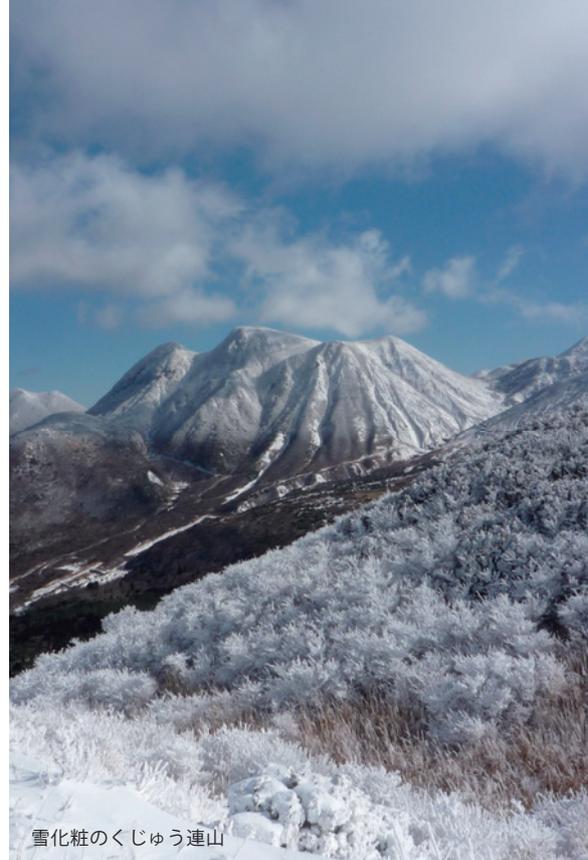
九重風致探勝林

大分県九重町

高山植物の群生地やラムサール条約に登録された
湿原など四季折々で表情を変える景観が楽しめる！

概要

九重風致探勝林は、大分県と熊本県境に連なる九重連山の久住山（標高 1,787m）及び星生山（標高 1,762m）の北西山腹に位置しています。この一帯は、阿蘇くじゅう国立公園の要所となっており、山麓から星生山、三俣山等の頂上にかけてミヤマキリシマ等高山植物の群生地や九州有数の紅葉スポット「九酔溪」などがあり、その景観は四季折々の変化に富み、雄大な自然を眺望できることから多くの観光客や登山者等が訪れます。



雪化粧のくじゅう連山



紅葉の牧ノ戸峠



タデ原湿原

楽しみ方

牧ノ戸峠からは、南に「阿蘇の五岳」、北東には「由布・鶴見岳」を望む大パノラマが広がり、また、そこから長者原までの遊歩道には様々な高山植物が群生し、季節によって変わる表情が見られ、登山や自然探索などで豊かな自然を満喫できます。

近くには、ラムサール条約に登録された「タデ原湿原」があり、雄大な自然とセットで満喫でき日帰り旅行を楽しめます。ゆっくりと楽しみたい方は、「九重“夢”温泉郷」と呼ばれる温泉やアウトドア体験など滞在型で体感してみるのもよいでしょう。

アクセス

公共交通機関の場合

JR大分駅（JR久大本線：約 60 分）→ JR湯布院駅→湯布院駅前バスセンター（バス：約 70 分）→くじゅう登山口 長者原

自動車の場合

- ・大分 IC→（東九州自動車道：約 50 分）→九重 IC（県道 40 号線他：約 40 分）→くじゅう登山口 長者原
- ・熊本県阿蘇市宮地駅（やまなみハイウェイ経由：80 分）→くじゅう登山口 長者原 **無料**

参考 URL

九重町ホームページ

<https://www.town.kokonoe.oita.jp/>

九重町観光協会

Home - 九重町観光協会 (k-miyachan.com)



01 ^{もり} 森林の仕事ガイダンスに参加しませんか

一度に全国各地の情報収集が可能！知りたい地域情報も手に入る！
森林・林業に興味がある方は、是非この機会をご活用ください。

無料!

森林の仕事ガイダンスは、新たな林業の担い手の確保を目的に、森林・林業への就業に関心を持つ方を対象に実施する仕事の説明・相談会です。会場では各地の林業に関する情報、林業作業の内容や就業までの流れについての説明のほか、参加者からの林業や地域での生活などの疑問について相談に応じます。

全国の都道府県が参加する中央ガイダンスを12月2日に東京都（東京国際フォーラム）、11月18日に大阪府（OMMビル）の2会場で開催予定のほか、地域単位（都道府県など）でのエリアガイダンスも全国23会場において開催予定です。さらに、9月17日には東京都（東京国際フォーラム）で開催されるふるさと回帰フェアでもミニガイダンスを開催します。

中央ガイダンスやミニガイダンスでは、一度に全国各地の情報収集ができます。エリアガイダンスでは、知りたい地域の情報を得ることができ、地域によっては林業の現場を実際に見学する現地訪問も実施しています。どちらも林業への就業に役立つ情報が得られます。

いずれも参加は無料ですが、事前予約が必要な場合がありますので、「緑の雇用RINGYOU.NET」から気になる会場の開催情報をチェックしてください！（開催情報の詳細は随時更新されます。）

なお上記とは別に、林業就業オンライン相談も「緑の雇用RINGYOU.NET」で随時受け付けております。ご関心のある方は申し込みフォームからご応募ください。

全国の情報収集をしたいなら…

12月2日開催（予定） 東京都（東京国際フォーラム）、大阪府（OMMビル）

11月18日開催（予定）

地域の情報を知りたいなら…

全国23会場

ガイダンスの開催情報等はこちらでチェック！

緑の雇用RINGYOU.NET

▶ <https://www.ringyou.net/>

林業就業オンライン相談も随時受付！



フォレストワーカートークショー



説明・相談会

サザエさん一家の“もりのわ”話 吹き出しコンテスト 受賞作品決定!!

沢山の応募作品から4作品を発表!

林野庁は、今年4月に、長谷川町子美術館と協力関係を結び、「サザエさん一家」に「森林の環応援助団」を委嘱しています（情報誌「林野」6月号参照）。その協力関係に基き、「第32回森と花の祭典―『みどりの感謝祭』の併催行事として、「サザエさん一家の“もりのわ”話吹き出しコンテスト」を開催しました。



林野庁長官賞

「森の保育」

東京都青梅市 飛田直子氏（70代）



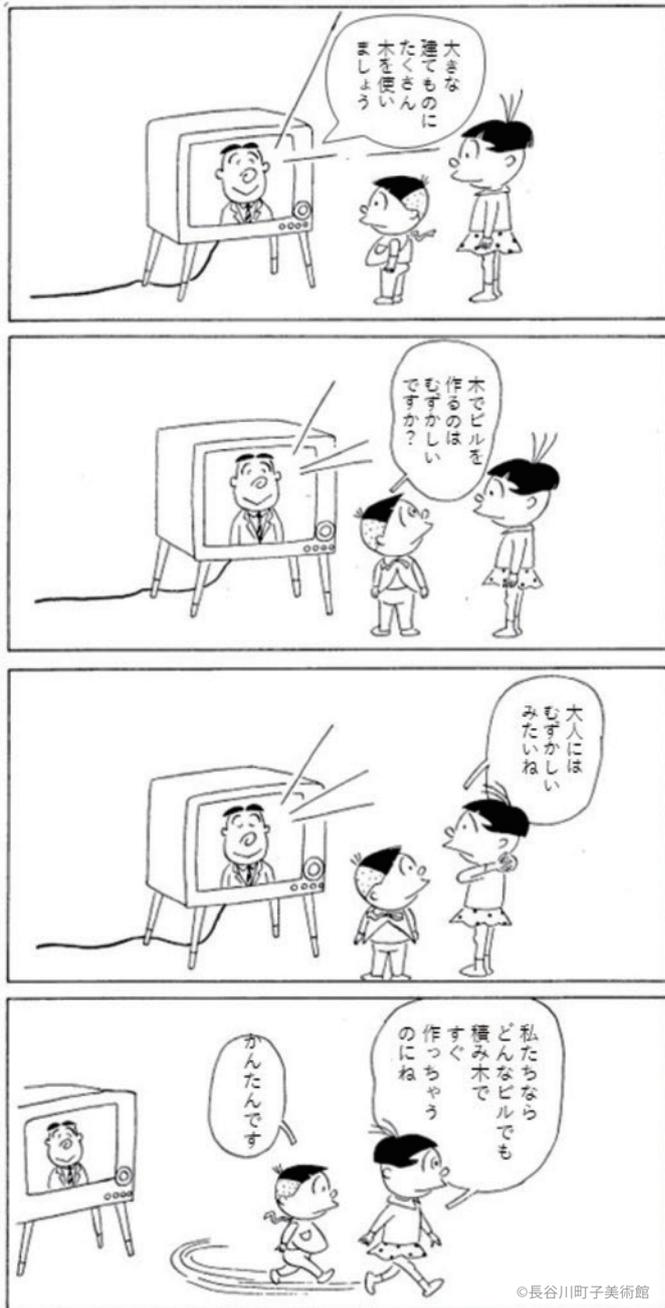
©長谷川町子美術館

メちゃん和タラちゃん和森林の保育についてやりとりする、のとした作品

林野庁長官賞

「高層木造建築」

茨城県つくば市 釣田林太郎氏（20代）



©長谷川町子美術館

(評) 現実のビルと積み木で作るビルをかけた、4コマ漫画らしいオチのついた作品

本コンテストは、「サザエさん」の4コマ漫画の吹き出しに、森林や木材などをテーマにしたセリフを入れるものです。4月13日から5月31日の応募終了までに、全国各地の7歳から93歳までの幅広い世代の方々から1,759作品の応募をいただきました。

応募作品から、外部有識者による選考を経て優秀作品4点を決定しました。

「林野庁長官賞」は高層木造建築と森林の保育に関する2作品、「みどりの感謝祭運営委員長賞」は森林の果たす役割に関する作品、そして、「長谷川町子美術館長賞」は森林資源の循環利用に関する作品が、それぞれ受賞しました。受賞作品は、4コマ漫画らしい言葉遊びの面白さやテンポの良さなどが評価されました。

表彰式は、10月8日(日)に林野庁内で行う予定です。



選考委員と事務局員

長谷川町子美術館長賞

「循環利用」

東京都新宿市 山口真二郎氏 (40代)



(評) 森林資源の循環利用をテーマに、漫画「サザエさん」の世界を彷彿とさせる作品

みどりの感謝祭運営委員長賞

「森林の役割って何?」

千葉県千葉市 山下結愛氏 (10代)



(評) 家族とのやりとりを通じて森林の役割を繰り返しリズム良く紹介する作品

(評) ワカ
ほのぼ



TOPICS
03

2023年上半期の木材輸入実績



2022年上半期（1～6月）は、低迷する住宅需要の影響を受けて、製材や合板などの建築用木材の輸入量が軒並み減少した一方で、バイオマスエネルギー用の木質ペレットの輸入量が増加しました。本稿では、2023年上半期における木材輸入の実績を輸入額と品目別輸入量に着目して紹介します。

① **木材輸入額**

本年上半期（累計、以下同）の木材（HS 44類）輸入額は、前年同期比20%減の6,886億円でした。国別に見ると、中国が同14%減、EUが同56%減、インドネシアが同24%減、カナダが同35%減、マレーシアが同27%減、ロシアが同66%減となりました。その一方で、ベトナムは同20%増、米

国が同10%増となりました（図1）。

国内の住宅需要が低迷していることから、製材や集成材、合板の輸入量が減少したことが輸入額の減少に影響しました。その中で、ベトナムは木質ペレットの輸入量が増加していることなどが影響し、輸入額では1位となりました。

② **丸太**

丸太輸入量は、前年同期比24%減の107.0万m³でした。国別に見ると、米国が同26%減の63.6万m³、カナダが同27%減の27.6万m³、NZは同6%減の12.8万m³となりました（図2）。

③ **製材**

製材輸入量は、前年同期比42%減の158.2万m³でした。国別に見ると、カナダが同36%減の34.0万m³、EUが同43%減の78.1万m³、ロシアが同

51%減の23.8万m³となりました（図2）。

図2 2021年～2023年の上半期における品目別木材輸入量

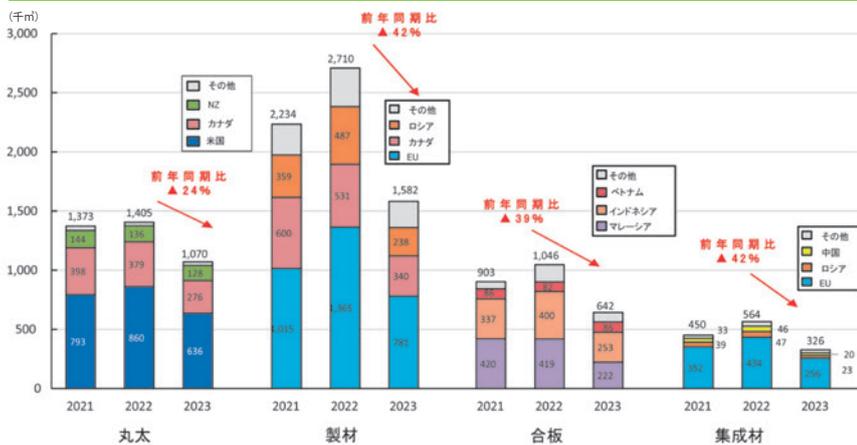


図3 カナダからの月別製材輸入量



各国の輸入量を月別に見ると、カナダは、昨年夏以降、前年同月比減が続いています。EUも昨年11月以降、さらに、ロシアも昨年8月以降、前年同月比減が続いています。（図3、4、5）。

※グラフは全て、財務省「貿易統計」から作成。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/poutai/yunyu/boueki.html>



※ 毎月の木材輸入実績は、翌々月の上旬に林野庁ウェブサイトに掲載しておりますので、是非御活用下さい。



図5 ロシアからの月別製材輸入量



図4 EUからの月別製材輸入量

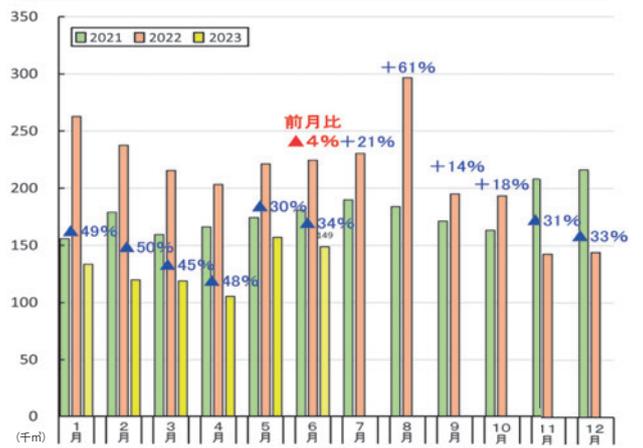
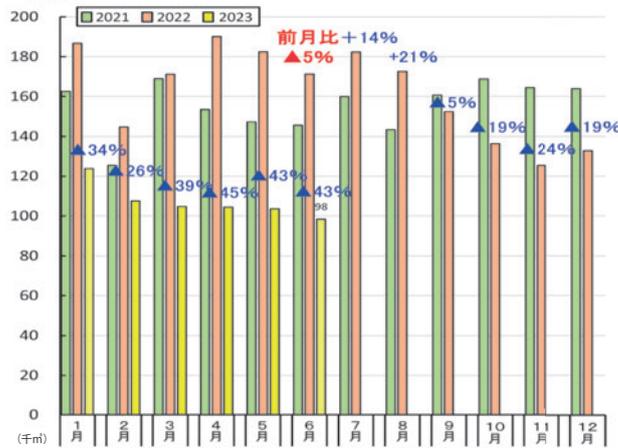


図6 合板の輸入量



4 合板

合板輸入量は、前年同期比39%減の64・2万m³でした。国別に見ると、マレーシアは同47%減の22・2万m³、インドネシアは同37%減の25・3万m³になりました(図2)。合板も昨年9月以降、前年同月比で減少が続いています(図6)。

5 集成材

本集成材輸入量は、前年同期比42%減の32・6万m³となりました。国別に見ると、EUが同41%減の25・6万m³で、全体の79%を占めています(図2)。このうち構造用集成材も同様に、輸入量は同43%減の28・1万m³、そのうちEUが同41%減の25・0万m³となりました。EUからの輸入量を月別に見ると、昨年11月から前年同月比で減少が続いています(図7)。

図7 EUからの月別集成材輸入量

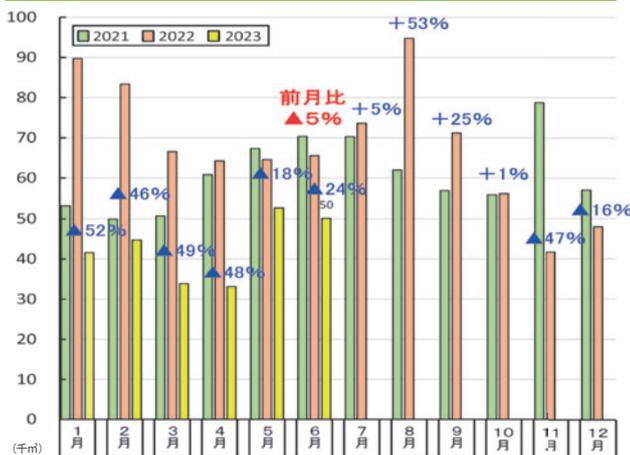
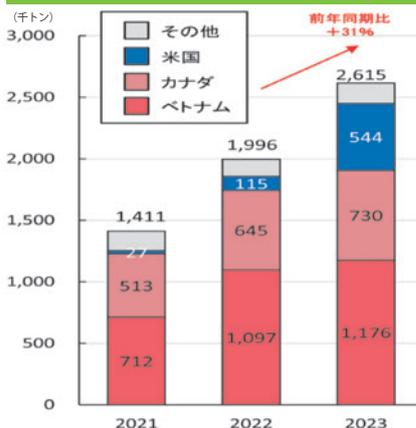


図8 2021年~2023年の上半期における木質ペレット輸入量



6 木質ペレット

丸太、製材、集成材、合板等の輸入量が軒並み減少する一方で、木質ペレットの輸入量は前年同期比31%増となりました。木質ペレットの主要な輸入国はベトナム(45%)、カナダ(28%)です。また、今年は米国からの輸入量が同473%増と急増しました(図8)。

おわりに

昨年は住宅需要が低迷し、輸入材の国内在庫が著しく増加しました。このため、昨年の後半ごろから、輸入量の減少傾向が続いています。

林野庁では、今後も引き続き、木材輸入の動向を注視し、関係する情報を積極的に公表してまいります。

シリーズ
新しい林業

ICTハーベスタ等を核とした 主伐・再造林システム 岐阜県

林野庁では、令和4年度予算で「新しい林業」に向けた林業経営育成対策として、経営モデル実証事業を実施しています。今月号では、岐阜県の取組を紹介します。

林野庁では、令和4年度予算で「新しい林業」に向けた林業経営育成対策として、経営モデル実証事業を実施

岐阜県内の森林には35度を超えるような急傾斜地が多く、そうした地域では路網の開設が困難となりますので、架線システムによる集材方法を模索しています。主伐・再造林の工程に最新式の集材機とICTハーベスタ等を導入する新たなシステムの実証と普及をテーマとし、白鳥林工協業組合と中江産業株式会社森林事業本部が、支援機関の岐阜県立森林文化アカデミー、郡上農林事務所と共同で取り組んでいます。

システム(図1、図2)による架線集材を実証し、荷掛け及び荷外し作業にかかる作業員の移動時間の短縮や、従来機との使い勝手の違いから、作業効率、危険回避、労働強度の低減効果等を検証します。

実証内容

- 1、素材生産
 - ・ 油圧集材機・架線式グラップル



図1 最新式油圧集材機

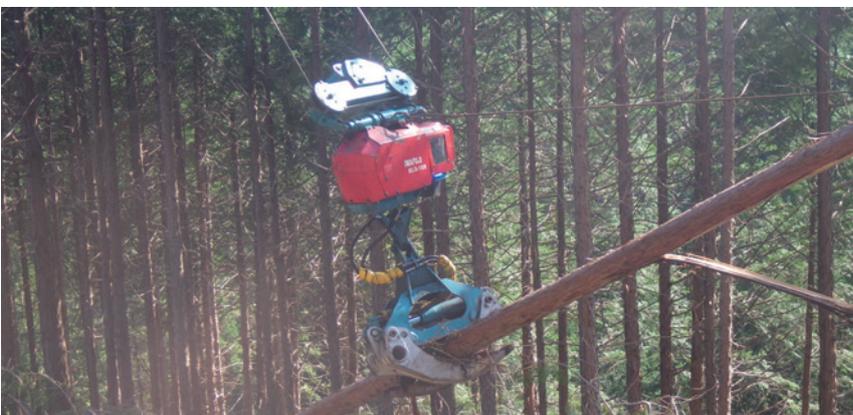


図2 架線式グラップル



図3 ICTハーベスタによる自動採材



図4 乗用刈払機による伐根処理



図5 従来型のフックとスリングによる荷掛け



図6 日陰で操作する荷掛け手

2、再造林

・ ICTハーベスタ(図3)を造材工程で活用し、需要と供給をマッチングする最適採材提案機能(バリューバックキング)、玉切りと同時に瞬時にカラーマーキングする機能、造材データ(材長、直径、材積)の自動収集機能を実証し、作業効率を検証します。

実証結果

(1) 油圧集材機・架線式グラップルシステム

簡単なりモニコン操作で動かすことができるので、従来の集材機のような専任オペレータによる複雑なレバー操作は不要となりました。初心者でもある程度練習を繰り返せば、ほぼ狙いどおりに掴めるようになりました。一方で、複数の材を同時に掴むことは難しく、細く軽い材でも1本だけ運ぶようなこともありました。そのため、一時的に架線式グラップルを取り外し、従来型のフックとスリングを用いて(図5)、一度に2〜3本運搬する方が効率的という場合も考えられます。また、荷掛け手は見通しの良い離れた位置でリモ

コンを操作するので、安全性は確実に向上しました。場所によっては日陰で操作することもでき、体力の消耗を抑えることができました(図6)。

(2) ICTハーベスタによる自動採材

ハーベスタに不慣れな操縦者でも素早く採材判断するための補助ツールとして有効であることが分かりました。また、カラーマーキング機能は、通常のアペレータによる手作業よりも作業効率が向上しました。造材データの自動収集機能は精度が高いことが確認できました。納材時にそのデータを活用することができれば、検知の省略化も期待されます。

(3) 乗用刈払機による伐根処理

緩傾斜地では大幅に作業効率が向上する一方、急傾斜地や転石の有無といった現場条件によっては十分に能力を発揮できないことが明らかになりました。

今後の取組

令和5年度は、油圧集材機・架線式グラップルシステムによる集材の作業効率について、さらに詳しく検証を進めていきます。

GISで森林の状況を「見える化」して 森林所有者との合意形成を支援

群馬県環境森林部林業振興課 小島 正

はじめに

群馬県では、森林経営管理制度を推進するため、令和元年度から地域機関に「経営管理専門官」を配置しました。その業務は、森林経営管理制度の推進に加え、市町村森林整備計画、森林経営計画、伐採及び伐採後の造林の届出制度など、市町村の森林・林業行政を幅広く支援するものです。

県の地域機関である吾妻環境森林事務所（令和3～4年度）で、その業務に従事した活動内容のうち、GIS（地理情報システム）を利用し、森林経営管理制度の意向調査、経営管理権の設定、市町村森林整備計画の見直しなど、管内の町村の業務を支援しましたので、その事例を紹介します。

森林経営管理制度の意向調査箇所の選定や集約化

森林経営管理制度は、①森林所有者に意向調査し、②市町村に経営管理を任せたい森林について、林業経営に適した森林か否かを調査し、③「経営管理権」の設定の有無などを判断します。針葉樹・広葉樹、経営形態、森林経営計画などを地図化（図1）すると、既に経営されている森林区域が分かれますので、意向調査する区域（林班）の優先順位を判断できます。次に、森林所有者への意向調査から、市町村に森林の経営管理を委託したい人の地番を地図化（図2）すると、集約化できそうな範囲（3ha以上の集団）を特定できます。

さらに、森林経営計画が認定されて

いる区域を地図化することで、経営管理の委託を希望する区域と重複（緑斜線とオレンジ色）している箇所があることが分かります。このような場合は、既存の森林経営計画を優先し、森林経営計画を拡大するか、経営管理権を設定して町村が再委託するかを判断することになります。このように地図化することにより、各地番の状況や位置関係を把握でき、合意形成を進めることができます。

林地台帳を活用した経営管理権集積計画の作成の効率化

林地台帳は、平成31年4月から市町村により制度運用が開始されました。林地台帳では、不動産登記記録に基

図2 町村に委託を希望する区域と森林経営計画認定区域を地図化

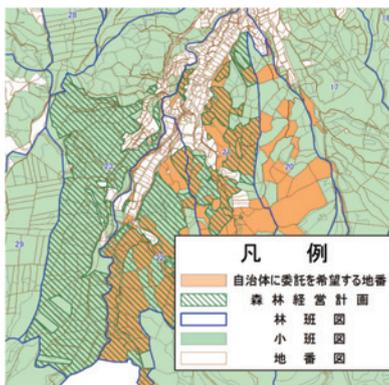


図1 森林計画図に森林経営計画区域などを重ねた図

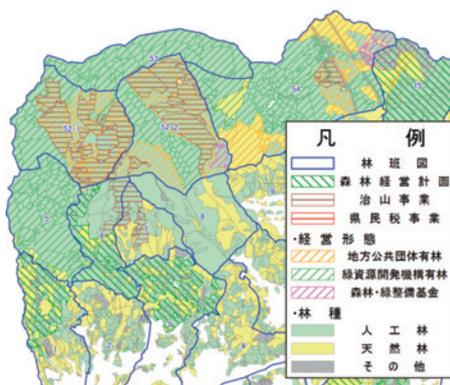
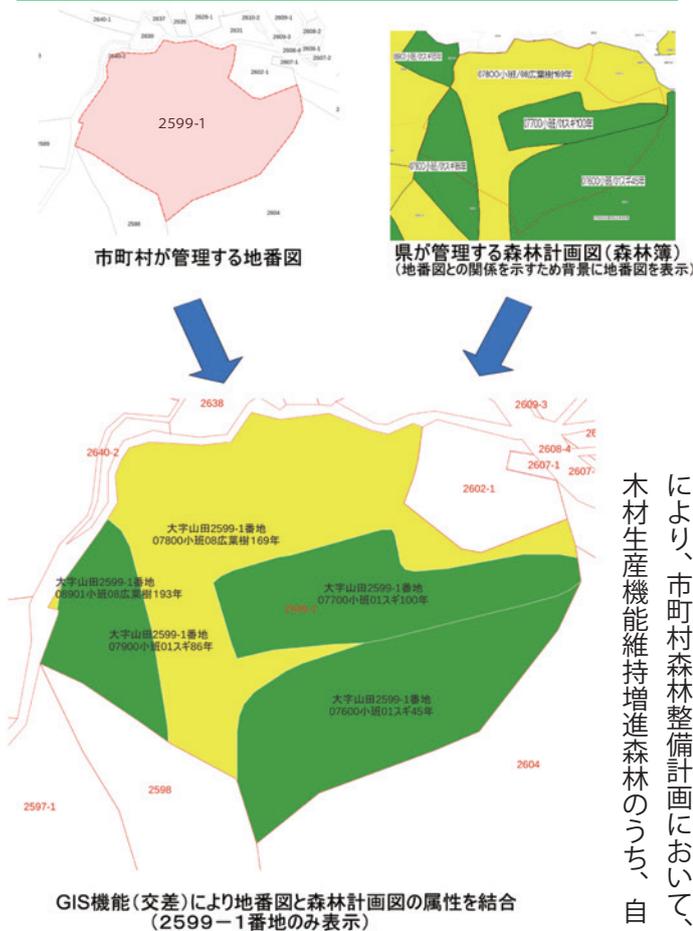


図3 QGISを利用した地番と森林計画図の属性を結合



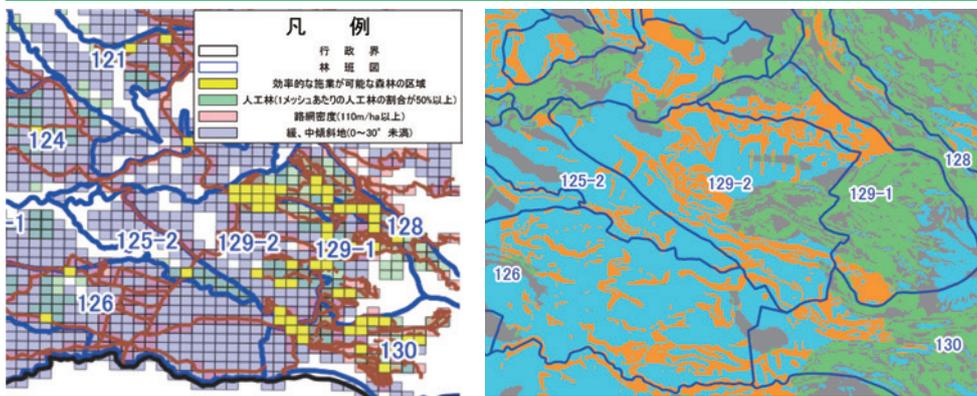
き、地域森林計画の対象森林が賦存する森林が属する地番とその土地の所有者の情報を電子的な台帳により記録・管理するものですが、群馬県では、森林計画図(森林簿)の小班に記載されている地番は代表地番であり、一つの小班に複数の地番が存在することがあります。これにより、地番と森林簿の地番を正確に紐づけできず、経営管理権集積計画の作成時に混乱が生じていました。

を紐付けました(図3)。この作業をN町全体で進めるため、まず、大字の範囲でN町と林地台帳を管理している事業者と検討し、問題がないことを確認してから、全体のGISシステムを改修しました。このことにより、地番毎に林班・小班番号、樹種名、林齢を正確に紐づけでき、意向調査や経営管理権の設定を進めることができました。

市町村森林整備計画の「特に効率的な施業区域」を設定

令和3年度の森林計画制度の見直しにより、市町村森林整備計画において、木材生産機能維持増進森林のうち、自

図4 効率的施業区域を選定する過程



100mメッシュに区切り、該当する箇所を表示

「もりぞん」で作成したゾーニング図

然的・社会的条件を勘案して、特に効率的な施業が可能な森林の区域(以下「効率的施業区域」)を新たに設定することになりました。そこで、町村がその区域を設定する支援をしました。効率的施業区域の条件は、各地域で異なるため、群馬県吾妻地域は次の条件としました。

- ・ 森林の生育が良好(人工林率50%以上)で、林道等の距離が近い(200m以内)
- ・ 地形(傾斜30度以下)

また、林野庁から配布されたQGISプラグイン「もりぞん」を利用(収益性の閾値を高く指定)し、「林業経営適地」にゾーニングされる箇所を「効率的施業区域」としました(図4)。森林組合、町村、県地域機関、森林組合連合会で検討を重ね、「もりぞん」の結果に、人工林の割合が50%以上100mメッシュ図、山地災害危険地区等に入らない区域を重ね、「効率的施業区域」を選定しました。

やりとり

GISを利用することにより、森林の状況を「見える化」でき、レイヤー間の重なりを結合することにより、意向調査や経営管理権集積計画の作成業務を軽減することができます。このため、森林状況を把握するには、県・市町村・林業事業者で、GISデータの整備・共有化を図ることが大切です。今後は、それらデータを活用し、施業の集約化、森林クレジット創出や森林空間利用など新たな価値の創造を含め、林業の成長産業化に貢献したいと思えます。



国有林野事業の**取組**

「中部の森林、

林業従事者写真コンテスト」の開催

中部森林管理局



はじめに

普段は人目に触れない人里離れた現場で、安全第一に頑張っている林業従事者の姿や、季節や天候が日々変化する自然を相手にした山の中の現場作業を広く知っていただき、国民の皆様

に林業への関心と理解を一層深めていただくため、中部森林管理局では、昨年度、初の取組として、林業従事者写真コンテストを開催しました。

コンテストの概要

応募作品のテーマは、「令和の林業に携わる姿と風景」です。管内の現場で働く林業従事者やその職場の方から令和以降に撮影された伐採、運材、造林、休息时间、収穫調査など、山で働くあらゆる場面を切り取った写真を募集したところ、約半年間の募集期間に129点の応募がありました。

審査には、当局の国有林モニターや「ミス日本みどりの大使」の上村さや香さんにも加わっていただき、写真の表現力や、山で働くことへの想いのメッセージ性などから、最優秀賞1点、優秀賞5点、入選9点が決定されました。

最終審査をしていただいた5名の審査員からは、「現場の方々の息づかいが伝わる写真が多かった」、「若者が活躍している姿は林業の魅力を感じや

管内概要

所在地 長野県長野市大字栗田715番地5

区域面積 3,360,336ha
うち森林面積 2,433,761ha
うち国有林面積 654,797ha

関係自治体 富山県、長野県、岐阜県、愛知県

中部森林管理局は、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の4県内の国有林を管理経営しています。

管内の国有林は、日本アルプスに代表される山岳地帯を有することもあり、標高差が大きく、地形も複雑なことから自然的条件は変化に富みます。面積の約半数がナラ類、カンバ類、ブナ科などの広葉樹やモミ、ツガなどの針葉樹からなる天然林、約3割がカラマツ、ヒノキなどの人工林、残りの2割は高山帯の岩石地などで占められています。

江戸時代より名をはせた「木曾ヒノキ」を有する木曾地域をはじめとして、木と人との長い歴史があり、人工林においては間伐などの森林整備を積極的に行うとともに天然力を活用した針広混交林への誘導を行うなど、多様な森林づくりに取り組んでいます。





優秀賞「晩秋の境内にて、御神木の伐倒」



優秀賞「真剣勝負」



最優秀賞「ヒノキ100年、僕21年」



優秀賞「朝の準備」



優秀賞「造材日和」



優秀賞「さて、どうする…」

すい、「現場で働いている林業従事者の励みになる」、「若い人の雇用拡大に繋がるのでは」などのコメントをいただきました。

また、入賞作品の発表については、3月10日に発行した当局の広報誌「中部の森林」(No.228)にて行いました。注… 国有林野事業についてのアンケートへの協力や会議への出席などにより幅広いご意見等をいただいている一般の方々、公募により選定されます。

いご意見等をいただいている一般の方々、公募により選定されます。

今後の取組

ご応募いただいた全ての作品は、当局のウェブサイトで紹介しており、各種イベントや就職説明会などで活用させていただきます。

せていただくとともに貴重な記録として後世に残すこととしています。また、広報誌「中部の森林」において、「フォトコン」作品からもっと伝えたい林業の魅力！」を紹介していきます。

なお、当局のウェブサイトに、昔の林業などを写真で紹介するサイト「モノクロ森林紀行」もありますので、林業従事者写真コンテストの作品とともに楽しみください。



04 令和5年度 こども霞が関見学デー 会場参加プログラムなどを開催

「こども霞が関見学デー」は、子どもたちが夏休みに広く社会を知る機会とするとともに、政府の施策に対する理解を深めてもらうため各省庁で連携して開催するイベントです。

農林水産省では、8月2日と3日に会場参加プログラムを実施しました。

林野庁では、「サザエさんと学ぼう！森林と木の話」と題して、木を伐って使うことは良いことなの？などの「〇×クイズ」や、枝をのこぎりで切ったり、小刀で削ったり、ドリルで穴を開けたりしてブンブンごまや可愛いストラップを作る「木工クラフト体験」を行いました。

身近なようで遠い森林や木のことについて、サザエさんたちと楽しく学んでいただくことができました。



また、7月14日から8月31日まで、特設Webサイト「マフ塾」（2023）にて、オンラインプログラムを公開しました。林野庁のプログラムは2つあり、ページの一部をご紹介します。

▶▶▶
マンガやクイズで
山や林業について
学ぼう！



マンガやクイズで山や林業について学ぼう！

山や林業、木の文化について、マンガやイラストを読んでクイズに挑戦してみよう！

クイズ！～木になることがてんこ森！～

木になることがてんこ森！クイズ



▶▶▶
「木づかい」しよう
木を使うのは
良いこと？



「木づかい」しよう～木を使うのは良いこと？～

森の木を伐って使うのは環境にやさしい？日本の木を使うことがなぜ良いことなのか、楽しく学んでみよう！

木のある暮らし～木のある暮らしはどんな暮らし？～

しっかり者
物知りだが慎重派
純粹でいつも前向き
新聞を読むのが好き
実は音痴
夢：いつか高い塀



キノヘイ (兄)

みどりの大使 が行く!

★ グリーンフェスティバル2023

茨城県水戸市で講演ゲストとして登壇しました。講演では、大使の活動の中で経験した森林・林業現場を紹介し、



2023ミス日本みどりの大使
かみむら 上村 さや香

林業の大切さを説明しました。講演の後には、茨城県の緑の少年団の皆さんと一緒に合唱しました。元気で優しい歌声を披露してくれたことが嬉しかったです。

会場内ブースでは、茨城県産材ヒノキでできた可愛いハート型のキーホルダーをGetしました! 国産木材アイテムがまた一つ増えました!

★ 岐阜県産材利用促進フォーラム

岐阜県庁で行われたフォーラムにて、オープニングコンサート、そして人生で初めてのパネルディスカッションに参加させていただきました。

会場は今年1月に完成したばかりの新庁舎のミナモホール。岐阜県産のヒノキ、スギ、クリなどが内装などにふんだんに使用されていて、木を感じることができました。また私の楽屋にも、

机や椅子、ハンガーラックなどなど岐阜県産材の飛騨家具の数々が置かれ、とても素敵でした。

パネルディスカッションでは浦井史郎様や隈研吾様など錚々たる皆様と登壇させていただきました。私は「もし彼と公園で別れ話をするとしたら、木のベンチに座りたいと思います。木の温もりで会話がうまく進んで、もしかしたら仲直りしたりして…」と話したところ、会場はとても柔らかい雰囲気になったように思います。また、「作詞をする時に、素敵なお木目のテーブルのカフェに行くという例も紹介しました。」



★ フジロックフェスティバル'23

新潟県苗場では、トークショーと弾き語りをしてきました! フジロックは毎年12万人以上の人が訪れる世界的な音楽イベントです。

会場内には子どもたちの遊び場に新潟県産材の滑り台、シーソーなどがあり木がとても身近に感じられました。ここで探していたヒノキのイヤリングをGet! とてもお気に入りです!

ステージでは楽器用木材が外国産から国内産に切り替えが進んでいることを紹介し、国産木材の利用を呼びかけました。そして森の中のステージで「森で愛ましよう」を歌わせていただきました。



★ みどりの大使の活動も後半に

みどりの大使の活動も後半に差し掛かりました。最近では、自分の言葉で考えを求められる機会が多くなりました。日本各地で出会う皆様のお言葉の一つ一つを思い出しながら、自分の言葉でお伝えしています。後半も情熱を待って取り組んでいきます!



きのこの日

きのこ料理のある

おいしい食卓には

幸福な笑顔が集まります。

おもてなし



10月15日はきのこの日

林野庁

日本特用林産振興会

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



本誌に使われている紙は、
日本の森林を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。

「林野」は林野庁 HP でもご覧になれます。詳しくは

情報誌 林野

検索

